

第110回医師国家試験対策委員会活動報告

副委員長 本 多 涉 (5年次)

琉球大学医学部医学科同窓会の皆様こんにちは。11月ともなると沖縄では気温も下がり、すっかり冬を感じさせる空気に満ちてきております。またこの季節になると、4年生はCBT、5年生は総合試験、そして6年生は医師国家試験が近くなり、各学年の勉強が本格的になってきております。とりわけ国家試験に対する受験生の緊張感は計り知れないものであるため、それをサポートするべく我々医師国家試験対策委員会も活発に活動を開始しております。

今回は医師国家試験対策委員長の上地に代わり、副委員長の本多が活動報告をさせていただきます。

今年度の医師国家試験まで残すところ約3ヶ月、試験会場も先日決定したため国対委員の活動も試験当日を見据えたものになってきております。本委員会の幹部が定期的に行っている幹部会では受験生が試験を受ける際のストレスをより減らすための種々の工夫について皆で検討しております。特に参考になるのが「ブロック会」と「アンケート」の二つです。ブロック会とは、年2回行われる九州地区の他大学医学部の国対委員が一同に会するもので、そこでの情報交換はとても有意義であり、本委員会でも積極的に他大学委員会の良い点を取り入れようとしております。ブロック会には大手予備校の有名講師の先生も参加されるために、普段は聞けないような情報が得られました。アンケートは本委員会が昨年度の国家試験が行われた際に受験生に協力をお願いしたもので、記載された内容を元に、改善すべき点や希望を実現できるように努めております。

現在、国家試験の際には試験会場の近くにあるホテルに受験生のほとんどが宿泊し、そこから試験に臨むという形をとっております。このため宿泊所の確保はもちろん、試験当日の食事や体調不良者への対応、各予備校が発信する直前情報の配布、受験票の管理などを本委員会のメンバーが協力して行っています。ま

た、試験当日には解答解説を即日を作成し、国家試験出題ガイドラインと照らし合わせた分析、また受験生からの質問に対応するといったことも行っています。特にこの解答解説作成は琉球大学の国対活動の特色であり、多くのメンバーの協力が無ければ実現できないものです。さらに、試験本番を迎えるまでには予備校が提供するビデオ講座や、複数回の模試を受ける方が大部分ですが、そういった予備校主催の教材の準備も本委員会で行っております。

本委員会は5年生のほぼ半数である45名によって構成されております。このため国家試験における先輩のサポートを通じて自分たちの学年における勉強のモチベーションにも大変影響を受けております。5年生が学年末に受ける総合試験は、従来行われていた卒業試験に相当しているものの一部です。このため国家試験を控えた6年生の緊張感是我々5年生の総合試験に向けての刺激にもなり、またその一方で総合試験に対する取り組みを国対活動に活かすことはできないかといったことも考えております。以上のように、学年が丸一丸となって自分たちの勉強はもちろん、受験生が合格できるように日々活動を続けております。

最後になりましたが、今年の受験生全員が国家試験に無事合格されることを祈っております。ありがとうございました。

